



第63回

たぐみ会

強く、しなやかで、何とも言えない手ざわり感の和紙の魅力にひかれた人たちの小さな工芸品サークル、それが「たぐみ会」です。

発足は三〇年ほど前。洋裁などの教室を開いていた会の代表、福田順子さんが「和紙工芸って面白いわよ」と、教え子たちを誘ったのが始まりです。

現在、会員は十人ほどです。一時は男性もいましたが、今は五〇代を中心に元気な女性ばかりです。

活動日は月二回の第一・第三火曜日の午後、会員たちが福田さん宅に集い、作品づくりに興じます。和紙を使って作る工芸品は、文箱やお盆などの小物から掛け軸、屏風など様々です。最近は生活の洋風化に伴い、洋室に合うマガジンラックやパソコン用デスクといった作品にも挑戦しています。また、和紙には人の心を癒す力があることから、会員がデイケア施設に向いて、お年寄りや障害者に和紙

工芸を教えています。

自分たちの作品の発表と和紙の素晴らしさのPRを兼ねて、ほぼ三年に一度、「和紙工芸展」を開催し、収益金の一部は福祉活動に寄付しています。会には大きな楽しみもあります。年一回の懇親旅行です。毎回、訪問先に国内各地の「和紙の里」を組み入れ、紙漉き体験などを満喫できることから、懇親ツアーは大変な人気です。

「和紙に興味のある人なら、どなたでも大歓迎です」と福田さん。今月十四、十五日に一色で開く十回目の和紙工芸展を前に、目下、出展作品の仕上げなど準備に大忙しです。



葉山歌壇俳壇

短歌

岡田 保子 選

◎特選 *共選

◎夏芽伸び剪定気遣い夫の言う山鳩の子の巢立ちを待とう
(評) 鳥の巢のある庭樹の剪定をためらふ夫の決心を好ましく共感する作者。お二人の優しさが伝わる歌です。直接話法の結句が効いています。

蝉の声を通して夏木立一日で一番静かな真昼間
鳴きやまぬミンミン 蝉の気忙しさ生あるものの短きいのち
ひっそりと「菜の花館」と言う場所を得て安らぎぬ叔母は歌えり
韓流のドラマの舞台「春川」は敗戦聞きし街はるけき少女期
復興に熱き想いの長岡の大火火の音胸骨に響く(中越大地震)
会う時は愛顔・愛語を呉る女先輩おしゃれなピアスが光る
陽におう幼のシャツの胸もとにイニシャル気どりに小さきカマキリ
爽涼や米寿の祝舟行けば白秋の碑にめぐりあひたり
村雨の露を纏へる庭の木々湯浴みせしごと爽だちて見ゆ
山岸由美子 多羅 空竹
米田 裕子 渡辺 裕子
岩渕寿々子 山崎みち子
鈴木 栄子 安藤とみ子
近藤 紘

俳句 沼田葉櫻子 選

俳句 浅井 一志 選

◎秋茄子のほつたらかしに太りけり 鈴木緋沙女

(評) 秋茄子は夏ものより小粒だが、収穫しないと忽ち大きくなってしまふ。「ほつたらかし」などという措辞は俳句のような詩形には落ちつき難いが、「太りけり」の据え方でうまく定着した。
◎藤寝椅子夢の続きを見るとせん 伊藤 青風
(評) 読んですぐにわかる句、特に難しさはない。ただこの句には若くなくある年齢を強く感じさせるところがある。す。「夢の続きを見るとせん」には、余裕というか、おおらかさがある点に惹かれました。

*鳴き尽し鳴き尽しての秋の蝉 熊谷 晃門
(評) 秋になって、少しずつ減りながらも短い命を鳴いている蝉には感動する。「鳴き尽し」をリフレインしたところに、その感じが深く表現された。

*水打って誰待つとなき夕心 片山 久女
古るほどに鉄の風鈴音を深む 石川 光子
天の声地の声とどけ原爆忌 新井かね子
これこそが鈴生りならんミニトマト 川崎 虎康
米倉 久恵
子供の驚く声や虹の橋

*水打って誰待つとなき夕心 片山 久女
かなかなや杜に小さき礼拝堂 石川 光子
秋徴雨漢方薬の封切りぬ 近藤 紘
*鳴き尽くし鳴き尽くしての秋の蝉 熊谷 晃門

合飲の花歯痛いつしかとれてをり 熊本 京子

締切は、掲載希望月の前々月末日必着。はがき1枚に、一人3首か3句まで(当季雑詠)、住所、氏名、電話番号を書いて、企画課「葉山歌壇俳壇係」まで

総合防災訓練



9月3日に葉山小学校グラウンドで防災訓練が行われました。家庭内の防災用品や身の回りの安全確認をしましょう。

平成17年度葉山町敬老会



9月1日、2日町福祉文化会館で敬老会が行なわれました。両日で731人の皆さんが出席されました。



男の料理教室



8月24日から男の料理教室が行なわれました。日ごろ調理をする機会が少ない男性を対象に、料理を始めるきっかけ作りの基礎講座として開催されました。



◆ギャラリー連「旅茶碗と古のトンボ玉タッセル展」

10月1日(土)～28日(金)10時～18時(3日(月)、7日(金)、17日(月)～21日(金)は休み) 図 ☎877-5715 阪本(ギャラリー連)

◆定例ボランティア活動

10月8日(土)9時30分から 介護老人福祉施設「葉山清寿苑」どなたでもどうぞ 図 ☎875-6734 大熊(葉山町ボランティア連絡協議会)

◆うみのこびとバザー

10月10日(月・祝)10時～14時 うみのこびと園舎(逗子市久木3-10-11) 人形劇(予約制)ほか 図 ☎0467-24-8785 坂口 872-3564 轉法輪

◆和紙工芸展(第10回)

10月14日(金)～15日(土)10時～16時 最上家別邸(バス下山橋下車徒歩3分)「和紙と布」素朴な風合いの和紙を幾重にも張り重ねた手回りの品 布に和紙を合せたタビストリー、和紙袋物ほか 図 ☎875-5271 福田(たぐみ会)

◆かながわ防災フェア2005

10月16日(日)9時～15時 県総合防災センター(厚木市下津古久280) 地震防災講演会、家具転倒防止の実演・相談会ほか 図 ☎046-227-0001 県総合防災センター

◆仕事と家庭を考えるセミナー

10月21日(金)14時～16時35分 かながわ県民センターホール(横浜駅西口徒歩5分) 県内企業の人事労務担当者と男女従業員対象 10月17日(月)締切 図 ☎045-210-5744 県労政福祉課

◆山口蓬春記念館年入館券発売開始

10月21日(金)から当館窓口にて発売開始 1,300円(有効期限内の企画展及び特別展を何回でも閲覧でき、同伴者2人まで50円割引が受けられます。図 ☎875-6094 山口蓬春記念館

◆三浦半島市民クルーズ 大島お鉢めぐりハイキング

(葉山町・横須賀市・鎌倉市・逗子市・三浦市在住在勤限定) 10月29日(土)、11月3日(木・祝)、19日(土)、23日(水・祝) 久里浜港フェリーのりば 8時集合 各回先着90人(事前申込) 大人9,500円、子ども5,000円(久里浜～大島往復ジェット船運賃・島内バス代・保険料) 図 ☎03-5472-9999 東海汽船(株) ☎822-8397 横須賀市港湾企画課

◆第7回フォス湘南ファミリーコンサート

出演：デュークエイセス 10月29日(土)18時30分 ロフォス湘南・中央福祉学院太宰ホール 1人500円(町社協に寄付します) ハガキ又はファックスに住所・氏名・年齢・電話番号を書いて、〒240-0197 上山口1560-44 ロフォス湘南サービス室 図 ☎858-0724

◆総合研究大学院大学 学術講演会

11月3日(木・祝)10時30分～12時30分 総合研究大学院大学(湘南国際村) 共通棟講義室 学術講演会「生命・光」 図 ☎858-1577

◆おひさままつり

11月3日(木・祝)11時～15時 森山神社(旧役場下車、駐車場なし) おひさま保育室のおまつりです。バザー、屋台、音楽会、ゲームなど 図 ☎876-2207 おひさま保育室

◆葉山アルプスハイキング募集

11月5日(土)9時40分バス停新沢集合(雨天中止) コース：新沢→三国峠→木古庭 昼食・飲料水・軍手など持参 長袖・長ズボン・履き慣れた靴を 先着25人 図 ☎878-7431 伊東(葉山山楽会)

◆パソコン講座(全16回)

11月7日(月)から毎月曜日10時～12時 町社会福祉協議会2階 費用1,700円(1回テキスト代込み) ワード・エクセル・デジタルカメラ・画像処理 図 ☎080-1088-1083 佐藤 873-7459 猪狩(葉山ボランティアネット)

◆ガイドと歩く

「三浦半島の自然体感ハイキング」 11月12日(土)9時～10時の間に衣笠行政センターで受付・出発 衣笠行政センター～大楠山山頂～立石公園をハイキング(行程4～5時間) 定員200人 費用200円(傷害保険代等) 食事と飲み物は各自で用意往復ハガキか

電子メールで、参加者代表の氏名・住所・電話番号・人数・全員の氏名・年齢を書いて、 図 〒231-8588 中区日本大通1 県政策課 政策推進班 高木 E-mail: sei.0102@pref.kanagawa.jp ☎045-210-1111 (内線3057) 10月31日(月)締切

◆ヒッポファミリークラブ 「七ヶ国語で話そう」講演会

11月17日(木)10時～12時 逗子文化プラザホール 11月19日(土)10時30分～12時30分 葉山マリーナ 参加無料 託児あり 図 ☎080-3089-2217 新井

◆JICAボランティア秋募集

①「青年海外協力隊」・②「日系社会青年ボランティア」(満20～39歳)・③「シニア海外ボランティア」・④「日系社会シニア・ボランティア」(満40～69歳)を募集 ①と③は技術や経験を活かして開発途上国の人々と共に協力活動を展開していく海外でのボランティア ②と④は中南米の日系人・日系社会への協力を通じて国の人々や社会へ貢献するボランティア 募集期間10月10日(月・祝)～11月16日(水) 10月中旬～11月初旬に『体験談と説明会』を開催 図 ☎045-663-3219 (JICA横浜) e-mail: jicayicp-vol@jica.go.jp ホームページ: <http://www.jica.go.jp>

◆湘南国際村アカデミア～子どもと免疫～

11月26日(土)15時30分～17時30分 総合研究大学院大学2階講義室 定員150人 「カイチュウ博士」の藤田紘一郎さんが免疫力を高めてアレルギーやストレスに打ち勝つバイキンとのつきあい方を講演 ハガキかファックスで行事名、氏名、住所、電話番号を書いて 図 〒240-0198 上山口1560-39 (財)かながわ学術研究交流財団(広崎) ☎855-1822 図 ☎858-1210

◆海辺の自然体験ボランティア募集

「子どもの海辺の自然体験活動」をサポートしてくれるボランティアスタッフを募集中。10月は『色々な船を漕いでみよう!』活動は土・日曜日、毎月第1週の土曜日にはリーダー向けの研修も開催。 図 ☎876-2287 オーションファミリー海洋自然体験センター

掲載を希望する際には、掲載したい月の前々月末日正午までに、企画課(☎内線333)へお電話ください。営利目的のもの、宗教・政治色の強いものは掲載できません。